

## 中村友保 教授 履歴・業績



# 略 歴

中村友保（なかむら ともやす）

1945年（昭和20年）12月26日 東京都 生

## 学 歴

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| 1964年 3月 | 東京都立江北高等学校卒業               |
| 1964年 4月 | 電気通信大学電気通信学部入学             |
| 1968年 3月 | 電気通信大学電気通信学部卒業             |
| 1970年 4月 | 電気通信大学大学院電気通信学研究科修士課程入学    |
| 1972年 3月 | 電気通信大学大学院電気通信学研究科修士課程修了    |
| 1972年 4月 | 東京教育大学大学院理学研究科博士課程入学       |
| 1975年 3月 | 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了（理学博士） |

## 職 歴

|          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 1968年 4月 | 全薬工業株式会社研究所応用微生物研究室に採用される。    |
| 1969年 7月 | 全薬工業株式会社研究所応用微生物研究室を退職する。     |
| 1975年 4月 | 学術振興会奨励研究員（東京教育大学所属）に採用される。   |
| 1976年 4月 | 東京教育大学理学部物理化学研究室に研究員として採用される。 |
| 1977年 2月 | 東京教育大学理学部物理化学研究室を退職する。        |
| 1979年 4月 | 専修大学に商学部講師として採用される。           |
| 1981年 4月 | 助教授に昇格する。                     |
| 1987年 4月 | 教授に昇格する。                      |
| 2001年 4月 | ネットワーク情報学部に移籍する。              |

**非常勤講師**：早稲田大学、筑波大学、専修大学、東京都立商科短期大学で非常勤講師を務める。

## 学内委員会・役職等

図書館委員会委員、教養課程委員会委員、就職指導委員会委員、情報科学センターセンター員、情報科学センター運営委員会委員、体育部委員会委員、情報科学センター教育指導室長、二部教務委員会委員、情報科学センター長、自己点検・評価委員会委員、専修大学基本政策検討会議専門委員、全学FD委員会委員、eキャンパス推進委員会委員、ネットワーク情報学部長、教員資格審査委員会委員、国際交流センター委員会委員、社会知性開発研究センター運営委員会委員、キャリアデザインセンター運営委員会委員、教育開発支援委員会委員

## 在外研究員

- 1992年4月1日—1993年3月31日 専修大学国内研究員  
2005年9月1日—2006年8月31日 アメリカ合衆国オレゴン大学長期在外研究員  
2012年10月1日—2013年3月31日 アメリカ合衆国オレゴン大学中期在外研究員

## 所属学会

American Sociological Association、環境社会学会

## 研究分野

商学（商品学・情報商品論）情報学基礎論（インターネット・コンテンツ）

## 学外委員等

- 1977年11月—1980年3月 クリーンジャパンセンター「静脈産業の経済性調査委員会」専門委員  
1984年7月—1985年7月 産業構造審議会専門委員  
1991年10月—1993年3月 クリーンジャパンセンター「製品アセスメント調査委員会」専門委員

## 研究業績

### 著作

- 『市場力学を変える商品多様化戦略』、中央経済社. (第3章、第6章) 1990年11月  
 『産業社会の進展と化学』、朝倉書店. (第2章、第3章) 1999年4月

### 学術論文

- Optical Activity of Nucleic Acid-Thionine Complexes, Bulletin of the Chemical Society of Japan, 44(4). (Co-author:I'haya YasumasaJ.) 1971年3月  
 Remarks on Quantum Chemical Interpretation of the Induced Optical Activity of DNA-Dye Complexes, International Journal of Quantum Chemistry, 5s. (Co-author:I'haya YasumasaJ.) 1971年12月  
 Induced Optical Activity of Nucleic Acid-Toluidine Blue O Complex, Bulletin of the Chemical Society of Japan, 45(9). (Co-author:I'haya Yasumasa J.) 1972年10月  
 Theoretical Analysis of Optical Rotatory Power of Methylcyclonexanone with Treatment of Conformational Equilibria, Bulletin of the Chemical Society of Japan, 49(12). (Co-author:I'Haya YasumasaJ.) 1976年12月  
 窒素系商品と技術の変遷、商品研究、第27巻. 1977年6月  
 書籍雑誌の商品特性、商品研究、第29巻. 1978年12月  
 商品と包装：資源・環境の視点から、専修大学商学研究所月報、第25号. 1980年6月  
 Cotton Effect Induced in Optically Inactive Molecules and Molecular Complexes by Optically Active Environment III: Circular Dichroism Induced By Association of  $\alpha$ -Chymotrypsin and Dyes, Bulletin of the Chemical Society of Japan, 53(12). (Co-author:I'Haya Yasumasa J., Oikawa Yasunobu.) 1980年12月  
 たばこの品質と多様化：商品学研究の一試論として、専修大学商学研究所年報、第6号. 1981年3月  
 商品テスト機関・商品テストに関する実態調査(1)：全国消費者生活センターの現況、商学研究年報、第8号. (吉田富義との共著) 1983年3月  
 消費者行動とマーケティング・コミュニケーション：大学生のライフ・スタイルによるマーケティング・コミュニケーション受容プロセスの推移についての分析(1)、専修商学論集、第35号. (梶原勝美との共著) 1983年3月  
 スポーツ・雑誌のクラスタリング、専修大学情報科学研究所情報科学研究、第4号. (梶原勝美との共著) 1984年3月  
 市場占有率と成長：歯科診療器機を例に、オペレーションズ・リサーチ、29(8). (小島崇弘との共著) 1984年8月  
 文科系大学における自然科学教育の一試み、日本科学教育学会年会論文集、9. (広瀬正克、佐藤創、内藤豊昭、高原隆明、難波利幸との共著) 1985年7月  
 質的特性の計量化：商品と多様化に関連して、専修大学商学研究所商学研究年報、第12号. 1987年3月  
 蛋白質分子の座標計算プログラム、専修大学自然科学研究会会報、No. 47. 1988年3月  
 文科系学部一般教育における科学教育について、専修大学自然科学研究会会報、No. 50. (広瀬正克との共著) 1989年3月

- 専修大学商学部学生のスポーツ意識、専修商学論集、第49号。(梶原勝美との共著) 1990年3月
- 大学における情報処理教育：アンケート調査を中心に、専修大学情報科学研究所所報、No. 31.  
(小島崇弘、江原淳との共著) 1993年2月
- 商品アセスメント、財団法人クリーン・ジャパン・センター製品アセスメントマニュアル、 1993年3月
- サービス品質の評価方法に関する一考察：知覚品質をとりあげて、商品研究、第43巻1.2号。  
(吉田朋樹との共著) 1993年5月
- 患者さんが望んでいる歯科医療サービス1—12：(連載)、歯科評論。 1994年4月  
—1995年3月
- 「商品化社会」の問題点(1)：商品アセスメントの提唱、専修商学論集、第63号。 1997年2月
- インターネットによる市民運動：企業ボイコットの論理(1)、専修商学論集、第72号。 2001年1月
- インターネットによる市民運動：企業ボイコットの論理(2)、専修ネットワーク&インフォメーション、第1号。 2002年3月
- Environmental Organizations and Communication Praxis:A Study of Communication Strategies Among a National Sample of Environmental Organizations, Organization Environment, 21(4). (Co-author:Michael Dreiling, Nicholas Lougee, R. Jonna.) 2008年12月
- After Fukushima:The Silence of Environmental Organizations on Nuclear Catastrophe, Metropolitcs.eu. (Co-author:Michael Dreiling, Nicholas Lougee.) 2015年9月
- 福島原発事故に日本の環境団体はどう対応したか、(MichaelDreiling, NicholasLougeeと共著)、専修大学人文科学研究所月報、第278号。 2015年11月

## 翻訳

- U. コッペルマン『製品化の理論と実際：新製品開発から市場導入まで』、東洋経済新報社。  
(第2章、第4章) 1984年11月

## 報告書

- 環境保全・資源有効利用システム技術開発報告書：静脈産業の経済性調査（再資源化率向上の経済影響）、財団法人クリーン・ジャパン・センター。(宮川公男との共著) 1978年3月
- 環境保全・資源有効利用システム開発報告書：静脈産業の経済性調査（廃棄物の経済性からみた最適再資源化）、財団法人クリーン・ジャパン・センター。(宮川公男との共著) 1979年3月
- 環境保全・資源有効利用システム開発報告書：静脈産業の経済調査（総括報告書）。財団法人クリーン・ジャパン・センター。(宮川公男との共著) 1980年3月
- 歯科器材の流通に関する調査について、日本歯科医師会調査室。 1981年3月
- 歯科器材の流通に関する調査（全国の歯科診療所における歯科器材の購入、管理の実態調査）、日本歯科医師会調査室。 1984年3月
- 陶磁製飲食器流通構造調査報告書、財団法人流通経済研究所。 1985年3月
- 食品工業関連構造実施調査報告書、財団法人流通経済研究所。 1986年3月
- 歯科における消費者の行動と意識の調査：アンケートによるパイロット調査、日本歯科医師会調査室。 1987年3月

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 歯科における消費者の行動と意識の調査：アンケートによる最終調査、日本歯科医師会調査室.                     | 1988年 3月              |
| 歯科医業経営実態調査の集計と分析, 日本歯科医師会. (吉田富義、高萩栄一郎との共著)                     | 1995年 6月              |
| レセプトコンピュータによる社会保険診療行為別頻度等調査の集計・分析、日本歯科医師会.                      | 1996年 4月              |
| 歯科医業経営実態調査の集計と分析：平成10年10月調査、日本歯科医師会. (隔年調査) (高萩栄一郎、内野明、高橋裕との共著) | 1999年 8月<br>—2005年 6月 |
| 組合活動冬の時代が？、専修大学教員組合この10年.                                       | 2011年 7月              |
| 組合を創ろう：オレゴン大学で、教員組合新聞.  | 2013年 8月              |

## 資料

|  |                       |
|--|-----------------------|
| SAS応用講座専修大学情報科学センター「センターインフォメーション」19(2)-19(7). (連載)                            | 1992年 5月<br>—1993年 1月 |
| 続SAS応用講座第1回日経NEEDS財務データの利用、専修大学情報科学センター「センターインフォメーション」.                        | 1993年 7月              |
| 座談会コンテンツデザインコース・10年の軌跡、専修ネットワーク&インフォメーション、第19号. (山下清美、福富忠和、松永賢次、上平崇仁、栗芝正臣との共著) | 2011年 3月              |

## 学会発表

|  |          |
|--|----------|
| 核酸と色素の相互作用I. Thionine核酸Complexの光学活性、日本化学会年会.   | 1970年 4月 |
| 核酸と色素の相互作用II. DNA-ToluidineBlue0Complexの光学活性、日本化学会年会.  | 1971年 4月 |
| 光学活性媒体による光学不活性物質の誘起旋光能、分子構造総合討論会.  | 1973年10月 |
| カルボニル基およびニトリル基を持つ分子の旋光能、分子構造総合討論会.   | 1974年10月 |
| 分子軌道法による加水分解酵素の反応機構、中部化学関係協会秋季大会.  | 1975年10月 |
| 塩基触媒によるエステルの加水分解機構・MO法による考察、中部化学関係協会秋季大会.  | 1975年10月 |
| 光学活性環境における芳香族化合物の誘起光学活性、分子構造総合討論会.   | 1975年11月 |
| タバコの商品特性、日本商品学会第30回全国大会.   | 1979年 5月 |
| 商品分析の方法・ビールを例にして、日本商品学会関東支部シンポジウム.   | 1979年 8月 |
| 「もの」と商品の関係：1つの考え方として、日本商品学会シンポジウム関東支部報.  | 1981年 8月 |
| 商品の多様化と集中化：計量分析を中心として、日本商品学会第34回全国大会.  | 1983年 5月 |
| 商品の多様化：ビールを事例として、日本商品学会関東部会大会.   | 1984年10月 |
| 商品の多様化：その計量的方法、日本商品学会第36回全国大会.   | 1985年 8月 |
| Über die Diversifikation von Waren (II) Anwendung der statistischen Methoden, IGWT (国際商品学技術学学会) 第5回シンポジウム. | 1985年12月 |
| ミネラルウォーターについての調査、日本商品学会関東部会大会.   | 1987年10月 |
| 商品の多様性に対する消費者評価、日本商品学会関東部会大会.  | 1988年10月 |
| 商品の多様性に対する消費者評価：アンケート調査の分析(2)、日本商品学会第40回全国大会.  | 1989年 5月 |
| POSデータによる商品特性と商品連関、日本商品学会関東部会大会.   | 1990年11月 |
| 商品アセスメントとリサイクル法、日本商品学会第44回全国大会.  | 1993年 5月 |
| 商品評価と商品連関：冷凍食品を事例として、日本商品学会関東部会大会.   | 1995年10月 |

- Environmental Movement Organizations and Computer Mediated Communication, 10th American Sociological Association Annual Meeting. 2006年 8 月
- After the Meltdown: Explaining the relative silence of Japanese environmentalism on nuclear energy, Pre-Congress Conference. 2014年 7 月
- An Energy Industrial Complex in Post-Fukushima Japan: A Network Analysis of the Nuclear Power Industry, the State and the Media, XVIII ISA World Congress of Sociology. 2014年 7 月
- After the Meltdown: Energy Regime Crisis and Environmental Conflicts in Post-Fukushima Japan, XVIII ISA World Congress of Sociology. 2014年 7 月
- Nuclear Denial in Japan: A Network Analysis of the Nuclear Power Industry, the State and the Media in Post-Fukushima Japan, Society for the Study of Social Problems, 2015 Annual Meeting. 2015年 8 月

## 退職記念講演会

テーマ 「私の研究歴・福島原発事故と日本の環境団体」